要保管

CRAMPONS

クライミングテクノロジー

クランポン

共通取扱説明書

IST31-IW_rev.0 06-15

3年保証
MADE IN ITALY
89/686/CEE 個人用保護具
EN893:2010

警告　クライミング･マウンテニアリングは一般的に他のスポーツに比べ、リスクの高いスポーツです。登山用品を使用してもクライミング･マウンテニアリングには潜在的な危険が伴います。ご自分自身の安全のため、クライミング･マウンテニアリングを行うかどうかの判断はご自分で下してください。また、クライミング･マウンテニアリングに際しては安全確保に対する幅広い知識が必要であることを認識し、考えられうる事故に備えなければいけないことを考慮してください。

製造元:イタリア･アルデザイン社
（商標名:クライミング･テクノロジー）
輸入販売元:イワタニ･プリムス株式会社
東京都中央区八丁堀4-12-20
電話番号03-3555-5605
イタリア製

仕様一覧

製品名	ビンディングシステム	品番	重量	主な素材	爪の数	スペアパーツ	
						アンチスノープレート（雪の付着止め）	ロングセンターバー
ライカン	オートマティック	CT-61019	1100g	クロモリ	12本	○	○
	セミオートマティック	CT-62019	1120g				
ヌプツェ EVO	オートマティック	CT-63017	1030g	クロモリ	12本	○	○
	セミオートマティック	CT-64017	1050g				
	クラシック	CT-65017	990g				

はじめにお読みください

登山、アルパインクライミングは一般的に他のスポーツに比べ、リスクの高いスポーツです。クライミング用品を使用しても登山、クライミングには潜在的な危険が伴います。ご自分自身の安全のため、クライミングを行うかどうかの判断はご自分で下してください。本製品を使用する前には必ず本取扱説明書をよく読み、本製品の特徴や注意事項をよく理解して使用してください。実際の使用の前には本製品の使用方法に十分に慣れることが必要です。また、クライミングに際しては安全確保に対する幅広い知識が必要であることを認識し、考えられうる事故に備えなければいけないことを考慮してください。

この取扱説明書はご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みいただいた後はいつでもご覧になれる所に保管してください。最新の情報や、その他の補足情報、及びその他の言語での取扱説明は、www.climbingtechnology.comにて確認してください。

警告　本説明書の正しい取扱方法に従わない場合、死亡または重大な傷害を負う恐れがあります。

表示内容

危険:人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容です。

警告:人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

注意:人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容です。

禁止:やってはいけないことを表しています。

ご使用に際しての注意事項<必ずお読みください>

この取扱説明書は、本製品(クランポン／アイゼン)を登山、雪山や氷河上での歩行で正しく使用するための注意事項が書かれています。過度に荷重をかける使用など本来の用途以外での使用は絶対に避けてください。誤った使用方法、不適切な使用方法やメンテナンスは、死亡または重傷を負う恐れがあります。この製品を使用する人は、使用方法を習熟しておく必要があります。使用者は使用方法(製品の使用方法および安全確保に関しての正しい措置)についての充分な習得が必要です。多くの誤った使用方法がありますが、この説明書にはその誤った使用方法を一部のみ図解しています。本取扱説明書に記載のある正しい方法でのみ使用してください。他の方法による誤った使用方法は禁止いたします。使用者は登山、雪山や氷河上での歩行等での実際の使用における生命および身体に対するリスクをあらかじめ認識してください。正しい使用方法を習得しない、またはリスクを認識しない人、登山、雪山や氷河上での歩行全般に対する知識を有しない人や安全確保を行えない人は、本製品を使用してはいけません。製造元、販売店、輸入代理店は、誤った使用方法や不適切な使用方法に起因するすべての事故に対し一切の責任を負いません。

本取扱説明書は、登山、アルパインクライミング用品の正しい使用方法などについて説明を行うものです。それらに関する専門的用語が用いられています。語句の内容が理解できない場合は本製品を使用せず、まず登山やクライミング講習等を受講してください。またアルパインクライミングには安全を確保するための正しいロープワークが必要です。これらが行えない場合は危険ですので行わないでください。

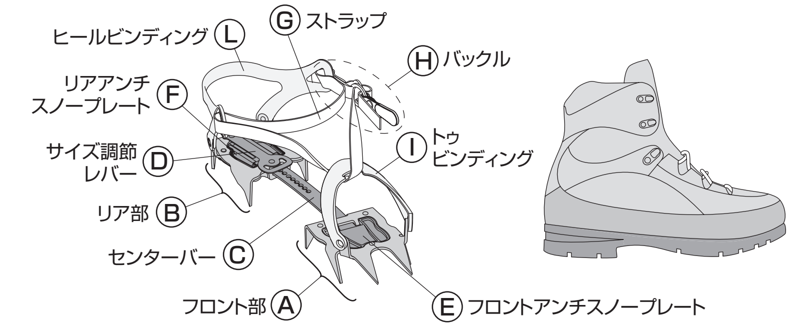
⚠ **警告**	登山、クライミングの前または最中には、アルコール、向精神薬、その他、知覚･認知、バランス感覚、集中力に悪影響を与える食品や薬品等の摂取を行わないでください。

EN893製品についての説明

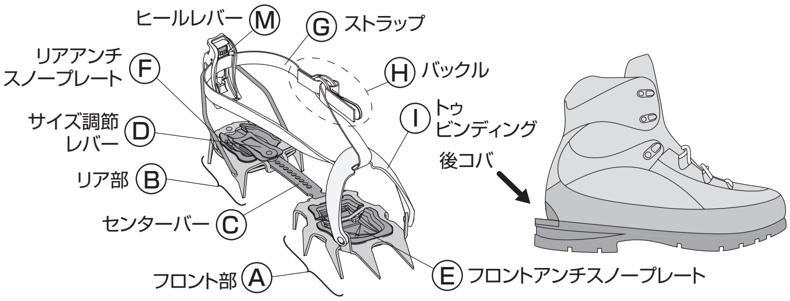
EN番号はヨーロッパ連合で規定する製品の規格で、EN893はクランポンを意味します。

図2　ビンディングの種類

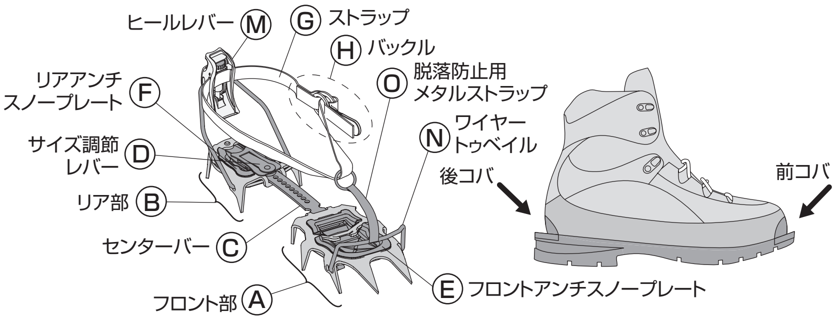
2.1　クラシック（クランポン用のコバが前後にないブーツ用）



2.2　セミオートマティック（クランポン用のコバがかかと部のみにあるブーツ用）



2.3　オートマティック（クランポン用のコバが前後にあるブーツ用）



1.各部の名称及び主な素材

Ⓐ-フロント部、Ⓑ-リア部、Ⓒ-センターバー、Ⓓ-サイズ調節レバー、Ⓔ-フロントアンチスノープレート、Ⓕ-リアアンチスノープレート、Ⓖ-ストラップ、Ⓗ-バックル、Ⓘ-トゥビンディング（クラシック、セミオートマティック）、Ⓛ-ヒールビンディング（クラシック）、Ⓜ-ヒールレバー（セミオートマティック、オートマティック）、Ⓝ-ワイヤートゥベイル（オートマティック）、Ⓞ-脱落防止用メタルストラップ（オートマティック）

ビンディングシステム：

図2.1　クラシック（クランポン用のコバが前後にないブーツ用）

図2.2　セミオートマティック（クランポン用のコバがかかと部のみにあるブーツ用）

図2.3　オートマティック（クランポン用のコバが前後にあるブーツ用）

主な素材：

クロモリ（フロント部、リア部及びセンターバー）、

ポリアミド（ストラップ及びビンディング）、

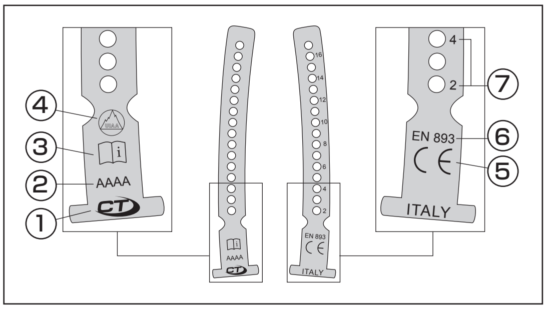
ステンレススチール（ベイル及びメタルストラップ）

2.表示

クランポンには以下の表示が記載されています。

①-製造者またはその商号(CTロゴ)、②-製造バッチ番号(例えば0214の場合、2014年の2回目の生産バッチであることを表します。)、③-使用者は取扱説明書を読み使用方法について熟知する必要があることを示す図、④-UIAAの基準に適合していることを示すUIAAの文字またはロゴ、⑤-欧州の品質基準に沿って製造したことを示すCE認証マーク、⑥-EN(ヨーロピアンノーム)認証番号、⑦-サイズ調節用番号

図3　製品への表示



その他に、■商品名、■生産国の表示もあります。

3.使用前の点検について

実際に使用する前に、すべてのパーツが最善の状態であることを確認してください。腐食や変形、ひび割れが見られたり、異物が刺さっていたり、またストラップに摩耗、破れ、縫い目のほつれがある場合は使用を中止してください。またセンターバーがフロント部のバー用の接続箇所を通りしっかりサイズ調節システムに固定されているかどうか、バックルは正しく機能しているかどうか、ヒールレバーに異物が付着していないかどうか、ワイヤートゥーベイルがフロント部の穴に正しくセットされているかどうか、クランポンの爪が擦り減り過ぎていないかを確認して下さい。

> ⚠ **警告**　使用中は定期的にクランポンがお使いの靴に正しく固定されているかどうか確認してください。固定が不十分だと感じた場合は、その都度クランポンの調整(4.サイズ合わせブーツへの装着を参照)を行ってください。

4.ブーツとクランポンのサイズを合わせる

クランポンは、装着する靴に合わせて調節を行わなければなりません。

> ⚠ **注意**　実際の使用前にクランポンがブーツと正しく固定されているか、脱落の恐れがないか、また靴への適合性があるかを確認してください。

4.1　マクロ調節

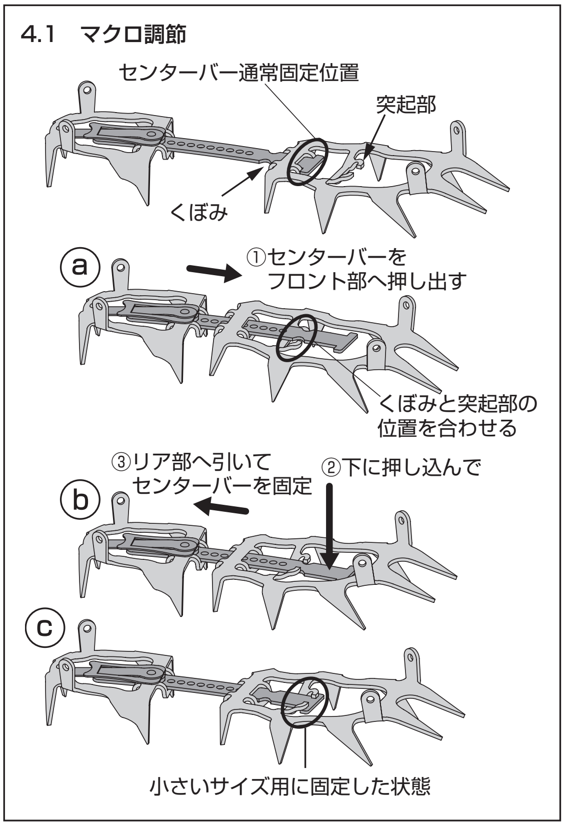
靴のサイズによってクランポンのサイズ調節を行うことができます。この調節は、センターバーをフロント部へ押し出して固定することで小さいサイズの靴にセットしても、リア部の後ろからセンターバーが突き出す長さを減らすことができます。

出荷時の状態でおよそEURサイズ42〜47まで対応し、マクロ調節を行うとおよそEURサイズ36〜43の靴に適応します。靴のメーカーによってサイズ表記は同じでも、実寸は異なりますので必ずその調節が適当かどうか点検して下さい。

サイズ調節部(**図2Ⓓ**)が固定された状態で、リア部を持ちセンターバーと一緒にフロント部へ押します(**図4.1ⓐ**)。センターバーの両端のくぼみを、フロント部の突起部にあわせて押し下げます(**図4.1ⓑ**)。最後にリア部を持ちセンターバーが止まるまで引き下げて、センターバーを固定させます(**図4.1ⓒ**)。

> ⚠ **注意**　EUR36から41相当の靴を装着の場合は、センターバーがアンチスノープレートを押し外してしまう可能性があるため、出荷時の状態ではなく必ずマクロ調節を行って下さい。

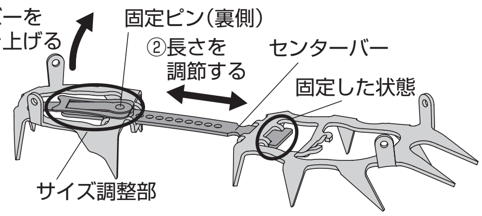
図4　製品の調節方法



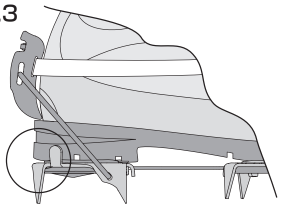
4.2　サイズ調節

靴のサイズに合わせてセンターバーの長さを変更することができます。サイズ調節部のレバーを引き上げ(**図4.2①**)、センターバーをフロント部に固定してリア部をスライドさせせることでクランポン全体の長さを調節することができます(**図4.2②**)。使用する靴に合ったサイズに調節した後、そのレバーを手離します。この時、サイズ調節部の固定ピンが確実にセンターバーの穴に挿入されていることを確認してください。

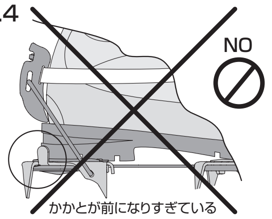
4.2　サイズ調節



4.3



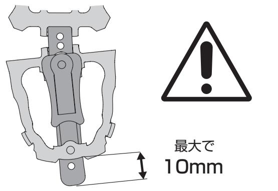
4.4



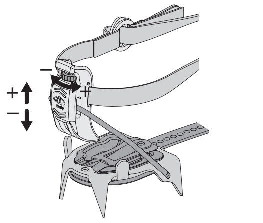
⚠ **警告**　クランポンと靴のかかとに隙間がないかどうか、確認してください(**図4.3**、**図4.4**)。

⚠ **注意**　センターバーがリア部からの突き出し部分が10mmを超えないようにしてください(**図4.5**)。

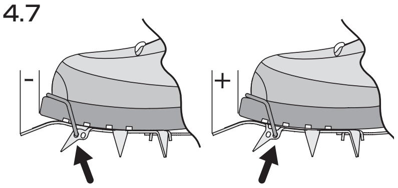
4.5



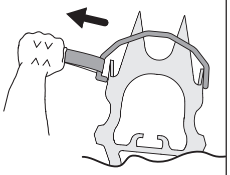
4.6



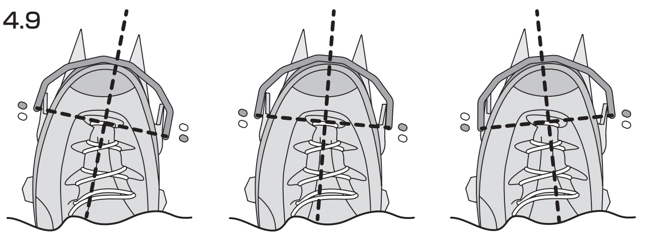
4.7



4.8



4.9



4.3　その他の調節方法

靴をクランポンに正しく取付けするには、細かな調節が必要です。マクロ調節とサイズ調節を行ってもまだ固定が不十分だと思われる場合は、下記の調節を行ってください。■クランポンをセットする靴が大きく、クランポンに適応しない場合はサイズの大きなセンターバー(別売)を用意してください。■セミ･オートマティックとオートマティックのビンディングは、ヒールレバーの高さ調節用の調節ネジで、装着する靴にあった高さに変更することができます(**図4.6**)。"**+**"方向に回すとレバーは上に、"**−**"方向に回せば下へ高さが変わります。正しくセットするためにはある程度力は要しますが、ヒールレバーがしっかり靴のコバに固定できるようにしてください。■オートマティックの製品のみ、ワイヤートゥベイルの微妙な調節を行うことができます。フロント部との接続部には前後に2か所の穴があるため、前側に装着すると靴よりはみ出した先端の爪の長さが短くなり、後ろ側にすると長くなります(**図4.7**)。トゥベイルの脱着は**図4.8**のように、ストラップを使用して行ってください。■左右の取付位置を変えることで、靴の形状や好みに応じた取付方法が可能です(**図4.9**)。

5.靴への取付

クランポンには左と右で形状が異なりますので、靴の左右とクランポンの左右を合わせて取り付けてください。センターバーのカーブを確認し、ストラップのバックルが常に靴の外側に装着されるようにしてください(**図5.1**、**図5.2**)。また靴への取付はクランポンのマクロ調節とサイズ調節を終えてから行ってください。

クラシック(図6.1):クランポンのビンディングの中に靴をセットします。次にストラップを図に示した順番にヒールビンディング、トゥビンディングの順に通していきます。最後にバックルにストラップを**図5.3**のように通して固定します。

セミ・オートマティック(図6.2):クランポンのトゥビンディングの中に靴をセットし、ヒールレバーを靴の後ろコバの上にあわせ靴の方へ押し上げます。次にストラップをトゥビンディングに通した後でバックルにストラップを**図5.3**のように通して固定します。

オートマティック(図6.3):ワイヤートゥベイルの下に靴の前コバをセットし、ヒールレバーを靴の後ろコバの上にあわせ靴の方へ押し上げます。次にストラップを脱落防止用メタルストラップに通した後でバックルにストラップを**図5.3**のように通して固定します。

クランポンの取りはずしは**図5.4**のように取り付けの逆に行ってください。

図5　ストラップの固定方法

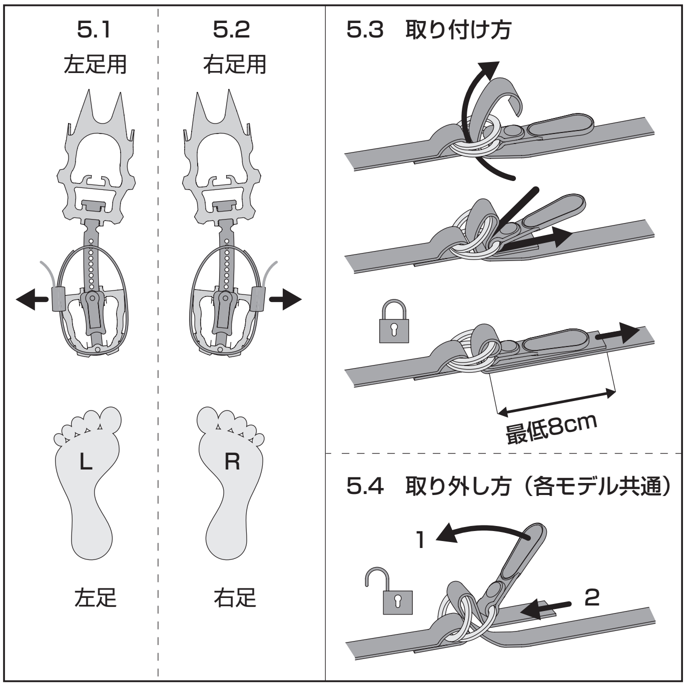
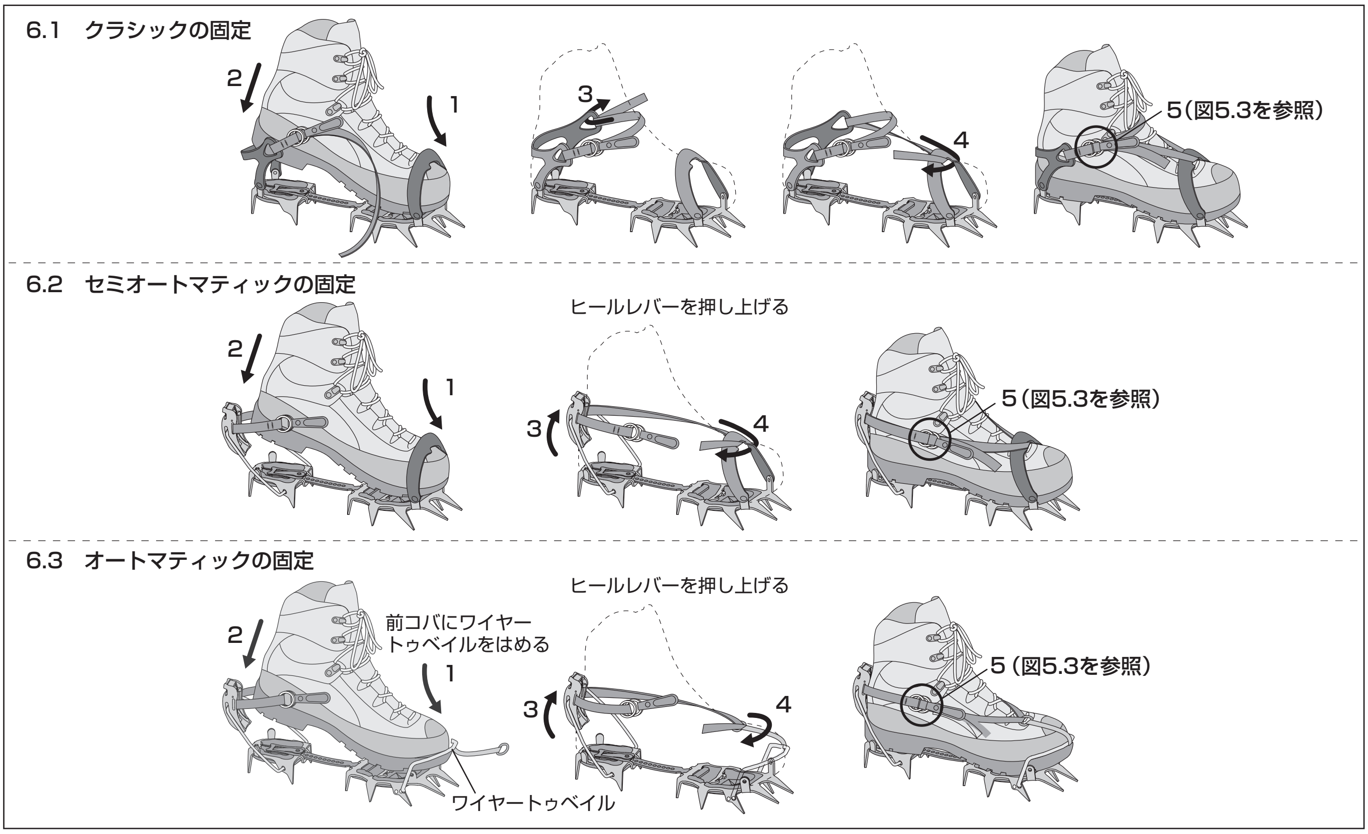


図6　靴への取付方法



6.使用前の確認

⚠ **警告**　必ず実際の使用前にクランポンの固定具合をテストしてください。

ストラップをきつく締めた後に、雪や氷に蹴りこんでクランポンが動かないかどうかを確認してください。万が一クランポンが動くようなら、クランポンをブーツから外し改めて各部の調節を行ってください。

⚠ **警告**　使用中はビンディングがずれることもありますので、定期的にしっかりと靴に固定されているかどうかの確認を行ってください。

7.メンテナンス

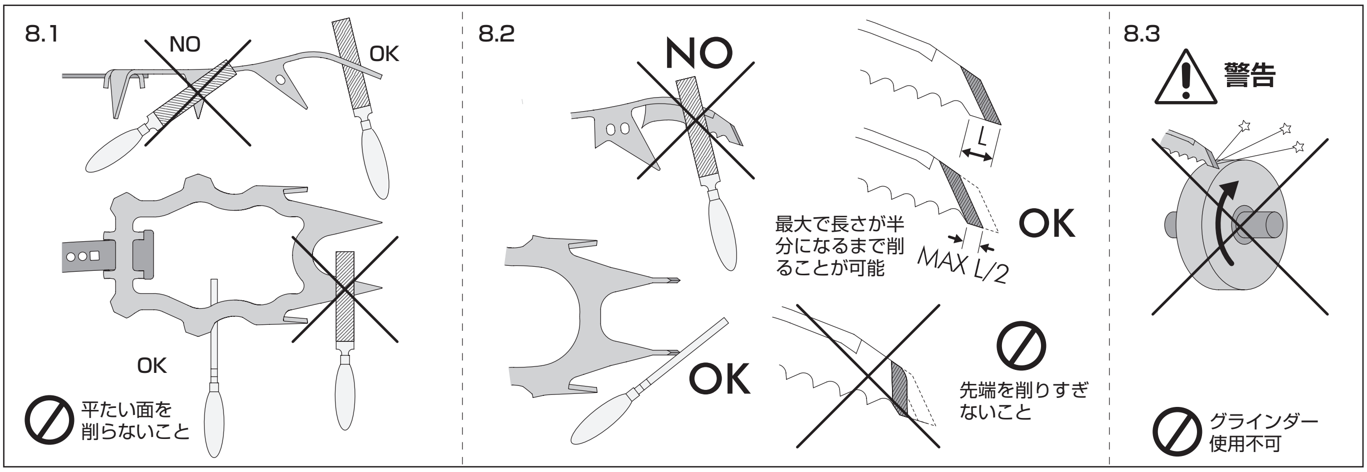
本製品に腐食やその他のダメージが見られる場合、想定より大きな荷重がかかった場合は破棄し、新しいものに買い換えてください。汚れは使用のつどに落とし、必要に応じてきれいな真水で洗い流し、水をやわらかな布でふき取り、日陰でよく乾燥させてください。乾燥の際は、100℃を超えるような熱源にはさらさないでください。また海岸付近で使用した時は塩分をよく落とす事が必要です。

鋭利な物や紫外線、化学薬品、腐食性の物質との接触を避け、また注油は行わないでください。

クランポンの爪を研ぐ場合は、グラインダーなどではなく必ず手やすりを使い手作業で行ってください(**図8**)。スチール部に熱を加えることは、材質の機能や性質の低下を招きます。

図7

図8　爪の研ぎ方



クランポンの爪は常に鋭く保ってください。丸くすり減った爪では氷や硬い雪上では十分な性能を発揮できません。

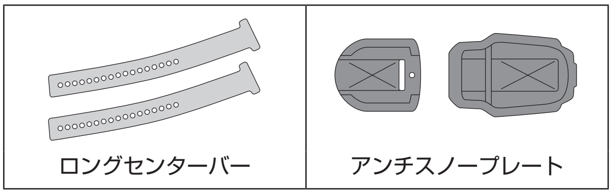
8.定期点検

必ず使用の前には目視による点検を行ってください。詳細な点検は年に1度は行うことをお勧めします。ただしこの期間は、使用頻度に基づいて変更してください。また点検結果は調査票に書き残すことが推奨されます。

9.スペアパーツ

本製品には、スペアパーツとしてアンチスノープレート(雪の付着止め)およびロングセンターバーの用意があります。ご購入は販売店に問い合わせください。

図9　スペアパーツ

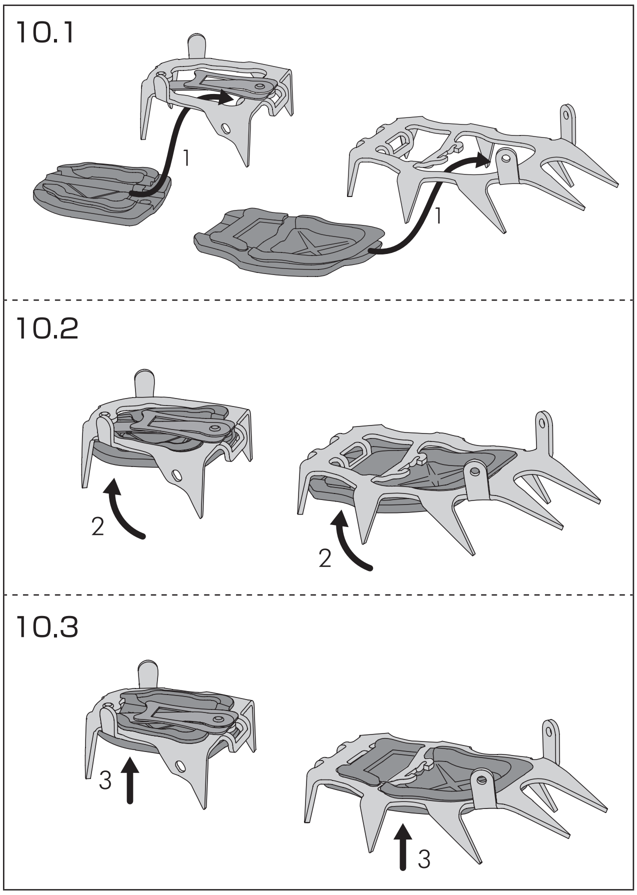


10.保管と持ち運び

保管の際はパッケージ等を取り外し、熱源となるようなものからも遠ざけて室内の乾燥した場所で保管してください。また塩分を含んだ水にさらされたり、完全に乾燥させる前に保管したりすることは必ず避けてください。

⚠ **警告**　持ち運びの際は、付属する収納ケースに入れてください。むき出しのまま持ち運ぶと鋭利な爪と接する衣服やバックパック、その他のものを傷つける恐れがあります。また混雑したバスや電車内では、むき出しのままバックパックの外側に取付けるのではなく、必ず他の方に当たらないようにバックパックなどの中にに入れて持ち運ぶようにしてください。

図 10　アンチスノープレートの取付方法



⚠ **注意**　・クランポンの先端は大変鋭利になっています。取り扱いの際にはケガをしないようご注意ください。
・袋やバックパックに入れて放置すると踏んでケガをする恐れがあります。

11.製品寿命

様々な要素(使用頻度、使用状況・環境、保管状況・環境など)が作用するため製品寿命を特定することは極めて困難です。おおよその期間を算出した場合は以下の通りになります。

－使用頻度が低い場合:10年(最大値)
－使用頻度が極めて高い場合:1年

以下のいずれかに該当する場合は、以後使用しないでください。

－製品の点検が十分に行われていない、または点検の結果から使用不可と判断した場合
－非常に大きな荷重・衝撃を受け、製品の状態に疑いがある場合
－製品が製造されてからの、完全な使用履歴が分からない場合
－該当する規格や法律が変更し、使用には適さないと判断された場合

12.保証について

本製品の製造またはその素材に起因する不良については三年間の保証が有効です。お買い上げいただいた際のレシートは製品の保証書の代わりになるものですので、必ず本取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

次の場合、保証は有効ではありません:1.お買い上げ後の不適切な輸送、移動時の取り扱いが不適当なために生じた故障・損傷 2.通常使用で発生する傷、磨耗、コーティングのはげなどの外観上の変化 3.不適切な保管方法や誤った使用方法や不注意によって起因した故障・損傷 4.改造、不当な修理による故障・損傷 5.火災・地震、水害、その他天災事故による故障・損傷 6.または前述の事項に準じたその他の要因によるもの

保証期間後の修理・点検等についても本書をご提示ください。

本取扱説明書には著作権があります。ご自分の予備としてのほかはイワタニ・プリムス株式会社の許可なしに複製、公開することはできません。

クランボン点検調査票

お客様名	ご購入日
ご購入店	製造バッチ番号(PROD.DATE) 西暦　　　年　　　回目の生産

点検日	点検者	点検日	点検者	点検日	点検者
メモ		メモ		メモ	
点検日	点検者	点検日	点検者	点検日	点検者
メモ		メモ		メモ	

Tests made by:

apave
SUDEUROPE SAS

NOTIFIED BODY "0082"
8, rue Jean-Jacques Vernazza
Z.A.C. Saumaty-Séon CS 60193
13322 MARSEILLE CEDEX 16
FRANCE

クランボン取扱説明書
発行日　2015年7月1日
発行者　イワタニ・プリムス株式会社
東京都中央区八丁堀4-12-20
電話番号 03-3555-5605
CR3